

活力あふれ感性息づく芸術文化のまち尾道

こ う ほ う

おのみち

Onomichi City 平成28年(2016)

No.1017
6月号

特集

もう一度考える
命を守る備え、できていますか—



JAPAN HERITAGE

日本遺産

もくじ

3 特集 もう一度考える
命を守る備え、できていますか—

6 暮らしの窓

木造住宅の耐震診断・改修費補助／土砂災害対策に対する工事費の補助／おのみち「農」の担い手／もうすぐ参議院議員選挙です ほか

10 健康・福祉

国保の特定健診／医師会だより／障害者出前教室／御調地区保健福祉推進大会／国保・介護・後期保険料のお知らせ ほか

14 子育て

児童手当現況届／二種混合2期の予防接種／乳幼児等医療費受給者証の手続き／ひとり親・寡婦の相談会 ほか

16 スポーツ

プール・海開き／ライフセーバー資格の受講者募集／高校総体 ほか

18 芸術・文化

尾道市美展【後期】／子ども学芸員の旅／尾道市立美術館招待券／第69回本因坊秀策囲碁まつり／芙美子ウィーク ほか

21 情報アラカルト

水道メーターの取り換え／歴史的風致維持向上計画の補助金交付／商店街の催し／因島水軍まつり「島まつり」／ランニングバイク選手権inいのしま／「たちまちチャレンジ講座」／狩猟免許講習会・試験／市営住宅入居者募集／土木・建築技師職員採用／尾道市立総合医療センター看護師採用 ほか

28 写真で振り返る第73回尾道みなと祭

30 相談

32 【新本庁舎】基本設計の概要

今月の表紙



4月23日・24日に開催された「第73回尾道みなと祭」の「ええじゃんSANSA・がり」踊りコンテストの様子です。2日間で105チーム、約5,800人ももの出場者が、力強いパフォーマンスで会場を盛り上げました。

囲碁のまち尾道 本因坊秀策生誕の地で第71期本因坊戦



(写真左から井山裕太本因坊、岡野聡一郎さん、箱崎璃乃さん、高尾紳路九段)



(写真は初手観戦)

■本因坊戦前夜祭

5月8日(日)、ポートピアはぶで第71期本因坊戦前夜祭が行われ、100人を超える囲碁ファンでにぎわいました。

地元の囲碁教室に通う箱崎璃乃さん、岡野聡一郎さんから対局者に記念品が贈呈されました。

■本因坊戦第1局 尾道対局

5月9日(月)・10日(火)、本因坊秀策囲碁記念館内の「再現した秀策生家」で第71期本因坊戦第1局が行われました。

「七冠初防衛」と「永世本因坊」の称号獲得がかかる井山裕太本因坊と、本因坊奪還を目指す高尾紳路九段の熱い対局が繰り広げられました。



向島中学校で国際交流

5月25日(水)、台湾・嘉義市立北興国民中学音楽専攻の生徒37人が向島中学校を訪れました。3年生の案内による1、2年生の授業参観や、3年生との日本文化の体験活動を行った後、しまなみ交流館でブラスバンド部との合同演奏を行い、親睦を深めました。



細島～西浜(重井)航路に 新船「こまたき」が就航

新船は、片舷に旅客室と操舵室を配置した斬新な船型で、しまなみ海道をイメージした明るいデザインです。また、バリアフリー設備や省エネ性能も兼ね備えています。進水式やお披露目式の様子を市ホームページに掲載しています。

特集

もう一度考える 命を守る備え、できていますかー

地震や津波などの自然災害は、時として想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることができます。防災対策で大切なことは、自分の身の安全を守るために一人ひとりが取り組む「自助」。そのポイントを紹介します。

☎総務課(☎0848-38-9216)



皆さん、非常持ち出し品の準備はできていますか。家族構成などにより、準備するものは変わります。すぐに持ち出せる場所に保管しておきましょう。



■非常持出品リスト(例)

- 常備薬(お薬手帳)
- 飲料水・食料品
(カップ麺、チョコレートなど)
- 印鑑・現金・保険証の写しなど
- 救急用品
- ヘルメット・マスク・軍手
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 予備電池
- 使い捨てカイロ
- タオル
- 衣類・下着

ライフラインの停止や 避難に備える

大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大切です。

また、自宅が被災したときは避難生活を送ることになります。避難生活に必要なものは、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。



■備蓄品リスト

- 飲料水(一人 1日 3リットルを目安に 3日分)
- 食料(アルファ米、ビスケット、乾パンなど 3日分)
- 下着、衣類
- ティッシュペーパー
- ライター、ろうそく

◀写真は3日分(1人分)の飲料水と食料ですが、甚大な被害が想定される南海トラフ巨大地震に備え、1週間分以上の備蓄を心がけましょう。

配慮が必要な人には

高齢者や障害者等には、災害時では特に生活全般において配慮が必要です。

介助等が必要な人には、備蓄品に加え、普段から必要としているものを準備しておくことと安心です。

■配慮が必要な人のために準備しておくもの(例)

- 大人用おむつ
- 尿とりパッド
- 補助具の予備
- 常備薬
- メガネ
- 障害者手帳等
- 緊急時の連絡先・血液型・常備薬・アレルギー・かかりつけの医療機関などを記載したカード等

赤ちゃんや子どものために 備える

小さなお子さんがいる家庭で防災について考えたことはありますか。子どもを災害から守るためには、被災したときの状況を考え、準備することが大切です。

赤ちゃんを抱えてすぐ逃げられるように、持ちやすく軽いバックやリュックを用意しておきましょう。

■母子健康手帳

子どもが病気になったり、けがをしたとき、病歴がわかる母子健康手帳等を準備しておきましょう。

■お気に入りのおもちゃ

被災時は大人だけでなく、子どもにも大きなストレスがかかります。いつも使っているおもちゃがあれば安心です。大きな音が出ないものもいいかもしれません。

■ミルク

持ち運びに便利なスティックタイプや、キューブタイプのミルクがおすすめです。

■だっこ紐

避難時には、がれき等でベビーカーが通れない可能性があります。子どもをしっかり抱いて安全に避難しましょう。

■普段のバックに入れておく、安心グッズ

- 母子健康手帳
- 水、ゼリー飲料
- 子ども用お菓子
- おしりふき
- 保険証等の写し
- タオル



地震の揺れに備える

阪神・淡路大震災や新潟県中越地震では、多くの人が倒れてきた家具の下敷きになって亡くなったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて防災対策をしておきましょう。

住宅の耐震化を

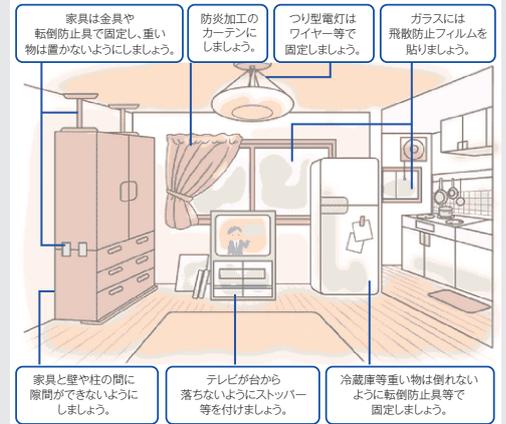
木造住宅の耐震診断・耐震改修費の一部を補助します。

※詳しくは6頁をご覧ください。

昭和56年5月以前に建てられた住宅は、耐震性が不足している可能性があります。



▲熊本地震で建物が崩れた様子：本市撮影



地域の災害特性を知る

本市の土砂災害危険箇所は約2,200箇所と大変多く、地震のほか、土砂災害にも警戒しなくてはなりません。

これから梅雨や台風などの出水期を迎えますが、土砂災害への備えもしっかりと行いましょう。

■土砂災害危険箇所を確認

土砂災害には、土石流、がけ崩れ、地すべりの3種類があります。防災マップで自宅周辺の危険箇所の有無を確認しましょう。

■避難場所を決める

市の指定避難所、親戚・友人宅など、土砂災害に備え、あらかじめ避難する場所を決めておきましょう。

■地域の防災情報を入手する

気象警報等が発表されたら、テレビ・ラジオ・インターネット等で防災情報を入手するように心がけましょう。「尾道市安全・安心メール」では避難に関する情報等、防災情報を配信しています。



平成26年8月に広島市で発生した大規模土砂災害
出典：国土地理院ウェブサイト

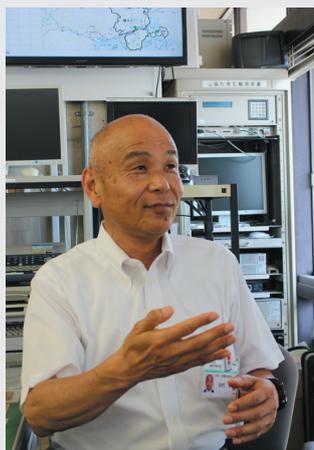
安全・安心メールの登録を

尾道市の防災情報等をメールで配信します。

宛先

「b-onomichi@io.dataeast.jp」

に空メールするか、右記QRコードを読み取り登録。



災害を知り、行動する。

広島県は土砂災害の恐れがある危険箇所が全国で一番多い県であり、本市にも多くの危険箇所があります。

近年、全国的に大規模な災害が発生していますが、災害の特性を正しく理解したうえで、十分な準備と対策を行うことで被害を軽減できると思っています。

そのためには、自らの命は自ら守る「自助」、地域の住民が助け合って守る「共助」、行政による「公助」が連携し、協力することが重要です。

本市では、自主防災組織の結成を推進しています。積極的な地域防災の取り組みをお願いいたします。

尾道市総務部
主幹(危機管理担当)
田村 斉

この度の熊本地震により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。